

○青森森林管理署の「採材現地検討会」に出席しました。

青森事務所では毎年、森林管理署等の採材現地検討会等に参加し、技術指導や情報提供などを行うことで、国有林材を円滑・効果的に活用するよう努めています。

令和2年12月8日(火)に青森県青森市の六枚橋山国有林で開催された「令和2年度 採材現地検討会」に、青森事務所から2名出席してきました。

青森の初冬らしい小雪の舞う肌寒い天候のなか、林業関係団体や署管内の林業事業体など約40名の参加者で開催されました。

今回の採材検討会では青森ヒバ及び広葉樹の採材について検討を行いました。

署長挨拶後、署担当者から現地の概要等について説明があり、その後採材の検討に移りました。

3本の青森ヒバとホオノキの全幹材について、4班に分かれて採材方法の検討を行いました。採材検討した内容を班ごとに色の違うカラーテープで示し、各班の代表者が採材した理由等を発表、青森事務所担当者及び青森ヒバ、広葉樹の委託販売先の担当者から、それぞれの採材検討に対する助言等を行いました。

また、採材検討した青森ヒバで一番太く通直なものを検討内容等を踏まえて6mで採材することとし、チェーンソーで切断(玉切り)して丸太にし、木口の状況等も確認しました。

最後に青森事務所からは、講評として、ヒバや広葉樹等の有利採材に向けての留意点や労働安全について注意喚起を行い、青森ヒバの生産量確保に向け最大限の努力をお願いし、採材検討会を終了しました。

青森事務所では今後も採材検討会に積極的に参加し、国有林材の有効な利用に貢献して参りたいと考えています。

